

第二版

日本 国家概况



◎ 刘笑明 编著

◎ 南开大学出版社

日本国家概况

(第二版)

刘笑明 编著

南开大学出版社

天津

图书在版编目(CIP)数据

日本国家概况 / 刘笑明编著. — 2 版. — 天津: 南开大学出版社, 2007. 2

ISBN 978-7-310-01464-4

I. 日... II. 刘... III. ①日本—高等学校—教材
②日本—概况—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 124293 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人: 肖占鹏

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

河北昌黎太阳红彩色印刷有限责任公司印刷

全国各地新华书店经销

2007 年 2 月第 2 版 2007 年 2 月第 13 次印刷

880×1230 毫米 32 开本 15 印张 414 千字

定价: 25.00 元

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

前 言

随着时代的发展，从事中日政治、经济、文化教育等交流的工作人员和日语学习者越来越多。因此，很需要一本适合我国读者能够全面了解日本国家概况的学习教材。

此书是以我国从事日语教育的工作者、大专院校日语专业的学生和准备参加全国高等教育日语专业自学考试的考生为对象，从日语教育视点出发，考虑到我国日语教学的具体情况并参照了日语教学大纲及高等教育日语专业自学考试大纲而编写的。

本书主要由日本地理、现代日本社会、和日本历史三部分组成。内容包括：地理、历史、社会、政治、文化、经济、科学教育、工农业、企业经营、生活以及风俗习惯等方面的知识。为了便于学习，对于课文中出现的人名、地名及事件等难读汉字词汇都单独列出，并且每一章节都附有习题，便于掌握要点。

本书自 2000 年出版以来，受到了广大读者的好评。此次再版修正了原有的遗漏、疏忽错误，补充或更新了一些新的内容。教师可以根据教学任务和时间选择重点章节、内容授课。此书也是日语学习者和赴日人员不可缺少的读物。

本书在编写过程中参考了日本有关资料，并且得到了从事日语教育工作者的日本教师的指导，使其内容丰富、知识新颖、系统规范，具有实用性。此书如果能够使读者了解日本并对学习日语有所帮助，实感欣慰。

本书在出版过程中得到了南开大学出版社张彤和张华女士的热情帮助，在此谨表谢意。

编者

2006 年 10 月

目次

第一編 日本の地理

第一章 日本の位置と面積	3
第一節 位置と国土	3
練習問題	7
第二章 日本の人口と気候	10
第一節 総人口と大都市	10
第二節 日本の気候	15
第三節 季節風・梅雨・台風	18
第四節 自然災害	19
練習問題	22
第三章 日本列島	23
第一節 日本の地形	23
第二節 日本の山地	25
第三節 日本の川と湖	28
第四節 平地	29
第五節 海岸のまわり	32
第六節 植物と動物	33
練習問題	34
第四章 日本の資源	36
第一節 地下資源とエネルギー	36
第二節 森林資源	38
第三節 水産資源	39

第四節 公害	40
練習問題	42

目 次

第五章 日本の交通	43
第一節 陸上交通	43
第二節 海上と空の交通	46
練習問題	47

第六章 日本の各地方	49
第一節 北海道地方	49
第二節 東北地方	54
第三節 関東地方	58
第四節 中部地方	62
第五節 近畿地方	66
第六節 中国と四国地方	70
第七節 九州と沖縄地方	72
練習問題	75

第二編 日本の社会

第一章 日本の政治	79
第一節 天皇の憲法上の地位	79
第二節 皇室の歴史	80
第三節 日本国憲法	82
第四節 日本の統治機構	84
第五節 選挙	85
第六節 日本の外交と自衛隊	87
第七節 現代の日本	88
第八節 中日関係	90
練習問題	93

第二章 日本の教育と科学技術	94
第一節 教育制度	94
第二節 科学技術領域	96
練習問題	98
第三章 日本の経済	99
第一節 戦後の日本経済の概観	99
第二節 日本経済の成功の要因	101
第三節 日本の貿易	102
第四節 日本の産業	105
第五節 農業	106
第六節 水産業	109
第七節 日本の工業	110
第八節 中小企業	113
第九節 工業の特徴	115
第十節 工業地帯	116
第十一節 商業	118
練習問題	119
第四章 日本の企業経営	121
第一節 現代の企業	121
第二節 企業経営の特徴	122
第三節 意志決定の仕組み	123
第四節 年功序列と労使関係	123
第五節 雇用問題	125
第六節 社会保障制度	129
練習問題	133
第五章 日本の文化	134
第一節 日本文化の起源	134
第二節 日本近代文化	135

第三節	生活の中の日本文化	141
第四節	日本文化の特性	144
第五節	マスコミ	145
第六節	日本の文学	147
第七節	能	150
第八節	狂言	152
第九節	歌舞伎	152
第十節	文楽	153
第十一節	生け花	154
第十二節	茶道	155
第十三節	書道	156
第十四節	日本画	156
第十五節	庭園・住宅	157
第十六節	相撲	159
第十七節	柔道	160
第十八節	日本の宗教	161
	練習問題	163
第六章	風俗習慣	165
第一節	日本の祭り	165
第二節	主な年中行事	169
第三節	贈答	171
第四節	日本料理	172
第五節	着物	175
第六節	婚儀	176
第七節	葬式	179
	練習問題	180
第七章	日本人	182
第一節	国民性と自然観	182

第二節	言語行動	183
第三節	勤労意識と娯楽観	184
第四節	集団主義	185
第五節	ビジネスマンの付き合い	186
第六節	現代の家族	187
第七節	家計	189
第八節	日本人の一生	190
	練習問題	191

第三編 日本の歴史

第一章	古代国家の起源	195
第一節	文化の始まり	195
第二節	農耕社会の成立	197
第三節	大和政権と古墳文化	200
	練習問題	203
第二章	律令国家の形成	205
第一節	推古朝と飛鳥文化	205
第二節	律令国家の成立	207
第三節	平城京の時代	211
第四節	天平文化	214
第五節	平安初期の政治と文化	217
	練習問題	219
第三章	貴族政治と国風文化	222
第一節	摂関政治	222
第二節	国風文化	225
第三節	荘園と武士	228
第四節	院政と平氏の台頭	230
	練習問題	233

第四章 武家社会の形成	235
第一節 鎌倉幕府の成立	235
第二節 執権政治	238
第三節 幕府の衰退	241
第四節 鎌倉文化	244
練習問題	248
第五章 武家社会の成長	250
第一節 室町幕府の成立	250
第二節 幕府の衰退と庶民の台頭	255
第三節 室町文化	260
第四節 戦国大名の登場	265
練習問題	269
第六章 幕藩体制の確立	271
第一節 織豊政権	271
第二節 幕藩体制の成立	278
練習問題	285
第七章 幕藩体制の展開	288
第一節 幕政の安定	288
第二節 経済の発展	290
第三節 元禄文化	296
練習問題	299
第八章 幕藩体制の動揺	301
第一節 幕政の改革	301
第二節 幕府の衰退	306

第三節 化政文化	310
練習問題	315
第九章 近代国家の成立	317
第一節 開国と幕末の動乱	317
第二節 明治維新と富国強兵	323
第三節 立憲国家の成立と日清戦争	332
第四節 日露戦争と国際関係	341
第五節 近代産業の発展	345
第六節 近代文化の発達	350
練習問題	356
第十章 近代日本とアジア	360
第一節 第一次世界大戦と日本	360
第二節 ワシントン体制	364
第三節 恐慌の時代	368
第四節 軍部の台頭	373
第五節 第二次世界大戦	376
練習問題	383
第十一章 戦後日本の出発	386
第一節 占領と民主化	386
第二節 日本の復興	390
練習問題	392
模擬テスト (A)	394
模擬テスト (A) 答案	399
模擬テスト (B)	401

模擬テスト (B) 答案	405
難読漢字索引	408
歴史年表	437
日中友好団体通讯录	442
日中友好筆友会通讯录	444
日本大学通讯录	445
主要参考文献	467

第一章 日本の位置と面積

第一編

日本の地理

日本はアジア大陸の東端に位置し、太平洋に面して、地理的に孤立している点で、日本の地理的特徴を形成する重要な要素の一つである。

日本は、北緯30度から45度の間に位置し、東経130度から145度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。また、日本は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。また、日本は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。

日本の面積は、約377,973平方キロメートルである。これは、世界の国土面積の約0.3%に相当する。日本の国土は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。

日本の国土は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。また、日本は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。

日本の国土は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。また、日本は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。

日本の国土は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。また、日本は、北緯35度の間に位置し、東経140度の間に位置している。この位置は、日本に独特の気候と自然環境をもたらしている。

第一章 日本の位置と面積

第一節 位置と国土

日本はアジア大陸の東側に南北 3,500 km にわたって、弧状に位置している島国である。日本の東と南西には太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と東中国海がある。

日本は日本海と東中国海を隔てて、中国、韓国、朝鮮と向い合い、東は広い太平洋を隔てて、アメリカと相対している。北にはオホーツク海を隔てて、ロシアのシベリアがあり、南には太平洋を隔てて、フィリピンやインドネシアなどの国々がある。特に、朝鮮半島とは対馬海峡で、また樺太（サハリン）とは宗谷海峡で接しており、大陸や近隣の島々と極めて近い位置にあるので、大陸からの人間や文化の移動を容易にしている。

中国と日本は「一衣帯水」の隣国であり、上海から九州の長崎まで約 460 海里、台湾省から日本の南西諸島の南端までは、約 60 海里しか離れていない。

日本は東経約 123 度から 154 度、北緯約 20 度半から 46 度の間にあり、首都東京は東経 140 度、北緯 36 度にある。

日本の国土は本州・北海道・九州・四国の四つの大きな島ほか、散在する 4,000 弱の島からなっている。これらは日本列島と総称されている。

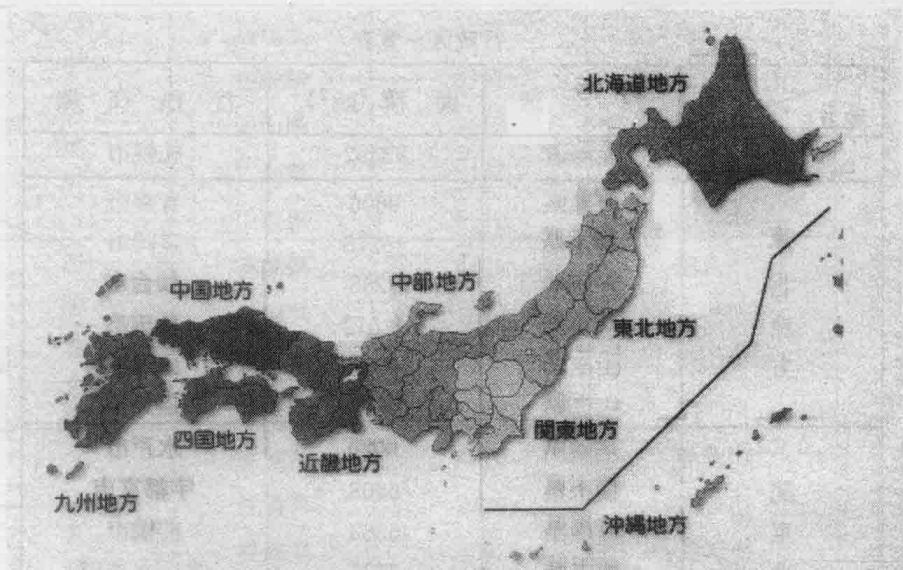
国土の面積は約 38 万 km^2 であるが、国土面積の 61% は急峻な山岳地帯であり、森林に覆われている。人が住める平地の面積は 24% にしか過ぎなく、ここに人口の 65% が集中している。北海道は本州

の北にあり、九州は本州の南西にあって、四国は本州の南にある。その中で、本州の面積が一番大きく、全国面積の61%を占めている。ついで、北海道は22%、九州（沖縄県を含む）は12%、四国は5%をそれぞれ占めている。



日本の位置

日本の国土は、北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の九つの地方に分けられる。これらの地方区分は地形などの自然的特性と地域の産業や歴史的変遷を基礎にして分けられたもので、行政上の地方区分ではない。



行政上では、日本は1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府、京都府）、43県に分けられている。東北地方と関東地方には県が十二あり、中部地方には九つの県があり、近畿地方と中国地方には県が十、四国地方には県が四つ、九州地方には県が七つある。沖縄地方は沖縄県一つである。日本の都、道、府、県にはそれぞれ都庁、道庁、府庁、県庁が設けられ、その下に市、町、村、などの順序で行政機構が設けられている。

日本の47の行政区域の中で、面積が一番広いのは北海道で、東京都の37倍もあり、一番狭いのは大阪府で、北海道の45分の1しかない。